

第1章 事業概要

第1節 事業目的及び本報告書について

1-1-1. 目的及び経緯

知的財産を豊富に創造し、これを保護・活用することにより、わが国の経済と文化の持続的な発展を目指す「知的財産立国」の実現には、質の高い知的財産を生み出す仕組みを整え、知的財産を適切に保護し、社会全体で活用する環境整備が重要である。特に、知的創造サイクルを支える人材の育成・確保は急務であり、学校教育を通じた幼少期からの知的財産マインドの涵養、大学等の高等教育機関における知的財産に明るい人材の育成、中小・ベンチャー企業での知的財産制度に対する理解と関心の増進など、国民全体への知的財産制度に対する意識の醸成と知識の向上を図るための環境整備が重要である。

さらに、国民の知的財産意識を向上させるためには、学校教育機関において知財マインドをもった人材の育成を推進することが重要であるが、「知的財産推進計画」との関連で述べれば、これまで「知的財産推進計画第1期(2003～2005年度)、第2期(2006～2008年度)」の基本方針としては、主に権利保護に注力された。その中で、第2期の最終年にあたる平成20(2008)年度計画では、知的財産推進計画2008の「第5章4.国民の知的財産意識を向上させる」において、(1)「学校における知的財産教育を推進する」こと、(2)「地域における知的財産教育を推進する」こと、(3)知的財産の創造、保護、活用の体験教育を充実することが述べられ、同じく、「第5章5.(6)専門高校における知的財産教育を推進する」においては、「工業高校や農業高校などにおける知財教育に関するこれまでの取組事例を活用するとともに、そのような取組の普及と定着を促すため、地域との連携や学校間の連携を取り入れた教育実践プログラムの開発を支援し、専門高校における知財教育を推進する」ことが述べられ、それぞれ活発に推進されてきた。

平成21(2009)年度からの「知的財産推進計画第3期」の基本方針は、知的財産をいかに経済的価値の創出に結びつけるかを重視することとされ、知財教育を推進する中で知財マインドをもった人材を育成することに関しては、第3期初年度の知的財産推進計画2009のII-1-(3)-②において、「地域における知的財産教育を推進すること」が謳われている。

平成22(2010)年の知的財産推進計画2010では、今後の我が国の産業の国際競争力強化のための中核に位置づけ、新成長戦略と連動し、科学技術政策、情報通信技術政策と一体化してスピード感を持って推進することとして、知財人材育成においても「専門学校や大学と産業界等との連携による、コンテンツ分野等の人材育成に関する枠組みモデルの構築」、「専門学校や大学と産業界等の連携によるプログラム開発の拡大」、「質の高い教育プログラムによるコンテンツ分野等の高度・中堅人材の重点的な養成及び専門学校や大学と産業界等の連携による教育プログラムの改善・更新」などが改善目標として掲げられている。

平成23(2011)年の知的財産推進計画2011においては、東日本大震災への対応を含め、①国際標準化のステージアップ戦略、②知財イノベーション競争戦略、③最先端デジタル・ネットワーク戦略、④クールジャパン戦略の4つを重点戦略として強力に推進するものとして、「知的財産戦略を支える人材の育成・確保」も挙げられている。

平成24(2012)年の知的財産推進計画2012においては、情勢変化と知的財産戦略の新たな挑戦、国際競争力強化に資する2つの知的財産総合戦略が打ち出され、その中でも情勢変化と知的財産戦略の新

たな挑戦の中の「3. 新時代に立ち向かう知的財産戦略の新たな挑戦」においては、「知財イノベーションのための総合戦略を協力を推進する。」とし、更に「最先端の知財マネジメント人財を養成する場の形成や知財マネジメント戦略研究拠点の整備を含め、新たな時代に対応する知財人財を加速的に育成・確保する「知財人財育成プラン」を強力に実行する。」とされている。

一方で、国際競争力強化に資する2つの知的財産総合戦略の中では、「1. ③次世代の知財人財を育成し確保する。」として、国内の知的財産権の取得・維持・管理に直接的に関わる「知財専門人材」の育成と併せて、イノベーション戦略に基づきグローバルにイノベーションを創出し、国際競争力の強化に資するような形で、事業戦略に巧みに適切かつ先行的・実践的に知財を活用できる「知財活用人材(知財マネジメント人材)」にまで、知財人財の育成の重点を広げなければならないとしている。

平成25(2013)年の知的財産推進計画2013では、「3. グローバル知財人財の育成・確保が上げられており、更に平成26(2014)年の知的財産推進計画2014では、「6. 政府が中心となった人財育成の場の整備」として、政府が主導的な役割を果たして知財人財の育成を行う場の整備を早急かつ着実に進めていくべきであるとしている。

平成27(2015)年の知的財産推進計画2015では、「8. 知財人財の戦略的な育成・活用」のなかで、知財教育の推進について記載されている。

平成28(2016)年の知的財産推進計画2016では、前年度に取り上げられた知財教育の推進から進展し、「知財教育タスクフォース」を設置して、社会と協働した知財教育の推進の在り方について議論を行い、今後、我が国が知財教育を推進していくに当たっての求められる方向性が3点整理された。

- ① “国民一人ひとりが知財人材” を目指した発達の段階に応じた系統的な教育の実施
- ② 社会との関わりや知識の活用を視野に入れた創造性の発展のための仕掛け
- ③ 地域・社会との協働(産学官連携による支援体制構築)の実現

平成29(2017)年の知的財産推進計画2017では、「Ⅱ. 知財の潜在力を活用した地方創生とイノベーション推進 3. 「国民一人ひとりが知財人材」を目指した知財教育・知財人材育成の推進」の項目が掲げられ、その項目における現状と課題として「発達の段階に応じて、新たな発見や思考の源泉となる創造性を育むとともに、知的財産の保護・活用の重要性に対する理解の増進と態度形成を図り、もって知的財産の創造に始まり、保護・活用に至る知的創造サイクルの好循環を生み出すための人材を育む教育(知財創造教育)」の全国的な普及を推進することが求められている。

平成30(2018)年の知的財産推進計画では、「2. 知的財産推進計画2018重点事項 (1)これからの時代に対応した人材・ビジネスを育てる ④知財創造教育・知財人材育成の推進」において、「イノベーションの創出のためには、新しいものを創造する人材や、創造されたものを活用したり他の様々なものと組み合わせたりして、新しい価値を生み出す仕組みをデザインできる人材が必要である。」「今後は、知財創造教育を一層教育現場に浸透させるための取組を行うとともに、高等学校における知財創造教育の体系化や、現場の教職員が知財創造教育を実践できるようにするための支援方策について検討することが求められる。」とされている。

その他教育現場においては、高等学校における新学習指導要領が平成30(2018)年3月に公示され、同要領において、「豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される子供たちが急速に変化し予測不可能な社会において自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成する」ことが基本的な考え方の一つとされている。「高等学校においては、社会で求められる資質・能力を全ての生徒に育み、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として送り出していくことがこれまで以上に求められる」として、「①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等」の「資質・能力の三つの柱が、偏りなく実現されるよう、…授業改善を図ること」とされ、例えば、理数教育においては、「将来、学術研究を通じた知の創出をもたらすことができる創造性豊かな人材の育成を目指し、新たな探究的科目として、「理数探究基礎」及び「理数探究」が新設された。この新高等学校学習指導要領は令和4年(2022)年4月1日以降の「第1学年に入学した生徒(略)に係る教育課程及び全課程の修了の認定から適用」されることとなっており、今後、高等学校における知的財産教育を通じた知財マインドをもった人材の育成の取組みは、一層促進されると考えられる。

このような流れに先立ち、「知財力開発校支援事業(以下、「本事業」という。)」の前身となる事業として、平成12(2000)年度に「産業財産権標準テキストの有効活用に関する実験協力校事業」が開始された。平成12年度には工業高等学校を対象に事業が実施され、その後、高等専門学校(平成13(2001)年度から実施)、商業高等学校(平成14(2002)年度から実施)、農業高等学校(平成15(2003)年度から実施)においても順次実施された。その後、平成20(2008)年度より全国の高等学校(専門学科)及び高等専門学校における知財マインドを持った人材の育成の一層の充実を図るため、これまでの事業名称を「産業財産権標準テキストを活用した知的財産教育推進協力校事業」として実施してきた。

この平成12(2000)年度から平成22(2010)年度にかけて実施された「産業財産権標準テキスト」の活用を軸とする事業は、事業実施期間中に多くの成果・実践例を生み出し、我が国における高等学校(専門学科)及び高等専門学校における知財人材の育成(知財教育)の発展に大きな役割を果たしてきた。

そして、平成23(2011)年度からは、産業界からの人材育成に関する要望や、政府の人材育成政策に応えるため、近い将来企業等で活躍することが見込まれる「明日の産業人材」を育成する「知的財産に関する創造力・実践力・活用力開発事業(以下、「開発事業」という。)」を新たに展開している。

本事業においては、知的財産権制度に関する理解を深めていく過程において生徒・学生が創作した発明・意匠・商標についてのアイデアを地域の専門家(弁理士等)とのコンサルテーションや地元企業等との連携等により知的財産としていく過程を模擬的な出願書類の作成、試作品の作成、地元企業等との連携を通じた商品の開発等、知的財産権の取得に向けて必要となる活動の体験などの実践の場を通じて知的創造力や実践力・活用力を育む取組を行うことを支援している。また、平成26(2014)年度からは、知的財産に関する創造力・実践力・活用力に関する実践的な能力を養成する取組の導入と基本的な知識の習得を目指す取組の計画を策定し、その実践を通じて組織的な取組として定着を図っていくことを目的とした「導入・定着型」と、開発事業において知的財産学習の組織的な推進体制ができ、既に知的財産学習が定着し、新たな特徴ある取組にチャレンジする学校を最大3年間支援することを目的とした「展開型」に区分して事業が実施された。

令和2(2020)年度からは、全国の高等学校(専門学科)及び高等専門学校を対象に、生徒・学生が、身の回りのアイデアが社会では知的財産権として保護されていることや、ビジネスの中で権利として活用さ

れていることの実態に触れながら、知的財産の保護や権利の活用についての知識や情意、態度を育む特色ある学校の知財学習の取組を支援する「知財力開発校支援事業」が「開発事業(令和3年度迄をもって終了)」の後身の事業として新たに実施されている。

令和6(2024)年度からは、「知財力開発校支援事業」の参加校の対象が普通科高校にも拡大された。

1-1-2. 本報告書の内容

知財マインドを持った人材の育成とその取組の普及や定着を図るために、参加校における生徒又は学生が知的財産に関する知識の習得や創造力及び実践力・活用力を育む過程について分析するとともに、取組を通しての地域や関係機関からの支援や連携の状況の具体的な事例を収集してとりまとめを行ったものである。

各学校の実践活動は、1年間にわたる取組であり、この報告書は、参加校からの年間指導報告書や教員に対するアンケート結果等を元に作成している。

1-1-3. 参加学校数の推移

前身の事業となる「産業財産権標準テキストの有効活用に関する実験協力校事業」(平成19年度以前)、「産業財産権標準テキストを活用した知的財産教育推進協力校事業」(平成20～22年度)及び「知的財産に関する創造力・実践力・活用力開発事業」(平成23～令和3年度)も含めた参加校数(延べ数)は、下記の表およびグラフのとおりである。

表1-1-1 参加校数の推移

実施年度	H17以前	H18 2006	H19 2007	H20 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	合計 (延べ数)
普通	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	17	31
農業	46	18	13	9	6	12	10	13	13	10	15	15	9	3	1	3	3	5	4	4	6	218
工業	295	44	39	23	25	34	39	48	53	48	48	39	36	25	22	21 (6)	16 (4)	17	22	16	20	930
商業	68	31	23	10	10	13	11	21	28	19	24	20	21	12	10	7 (1)	7	6	4	4	10	359
水産	—	—	—	—	—	2	3	5	5	7	7	5	8	5	5	5 (1)	6	5	6	3	2	79
家庭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	0	1	2	4
情報	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	2	4	10
福祉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	3
高等学校 合計	409	93	75	42	41	61	63	87	99	84	94	79	74	45	38	37	34	34	37	45	63	1634
高等 専門学校	65	13	15	17	15	19	14	13	14	16	9	10	8	7	4	4	4	4	5	3	2	261
全合計	474	106	90	59	56	80	77	100	113	100	103	89	82	52	42	41	38	38	42	48	65	1895

※令和2・3年度の()内の数字は、開発事業参加校の参加校数を内数として示している。

図1-1-1 令和7年度参加校の分布

令和7年度 採択校の校種・地区

普通 17校	農業 6校	工業 20校
商業 10校	水産 2校	家庭 2校
情報 4校	福祉 2校	高専 2校
計：65校		



中国地区——5校

- 野田学園中学・高等学校
- 岡山県立岡山芳泉高等学校
- 広島工業大学高等学校
- 山口県立徳山商工高等学校
- 山口県立田布施農工高等学校

四国地区——3校

- 徳島市立高等学校
- 香川県立多度津高等学校
- 愛媛県立松山商業高等学校

九州地区——11校

- 長崎総合科学大学附属高等学校
- 大分県立日出総合高等学校
- 熊本県立熊本農業高等学校
- 開新高等学校
- 大分県立鶴崎工業高等学校
- 熊本県立熊本工業高等学校
- 大分県立大分工業高等学校
- 大分県立中津東高等学校
- 鹿児島県立鹿児島工業高等学校
- 熊本県立天草拓心高等学校
- 大分県立情報科学高等学校

北海道地区——3校

- 札幌日本大学高等学校
- 東海大学付属札幌高等学校
- 北海道更別農業高等学校

東北地区——11校

- 宮城県松島高等学校
- 秋田県立大曲農業高等学校
- 山形県立鶴岡工業高等学校
- 宮城県工業高等学校
- 秋田県立湯沢翔北高等学校
- 宮城県大河原産業高等学校
- 宮城県南三陸高等学校
- 山形県立天童高等学校
- 山形県立鶴岡中央高等学校
- 東奥学園高等学校
- 一関工業高等専門学校

関東地区——15校

- サレジオン国際学園高等学校
- 立花学園高等学校
- 東海大学付属市原望洋高等学校
- 玉川学園高等部
- 東海大学付属高輪台高等学校
- 聖学院中学校高等学校
- 東海大学付属相模高等学校
- 長野県佐久平総合技術高等学校
- 群馬県立前橋工業高等学校
- 東京都立芝商業高等学校
- 神奈川県立小田原東高等学校
- 東京都立第五商業高等学校
- 千葉県立佐倉東高等学校
- 千葉県立袖ヶ浦高等学校
- 千葉県立柏の葉高等学校

中部地区——6校

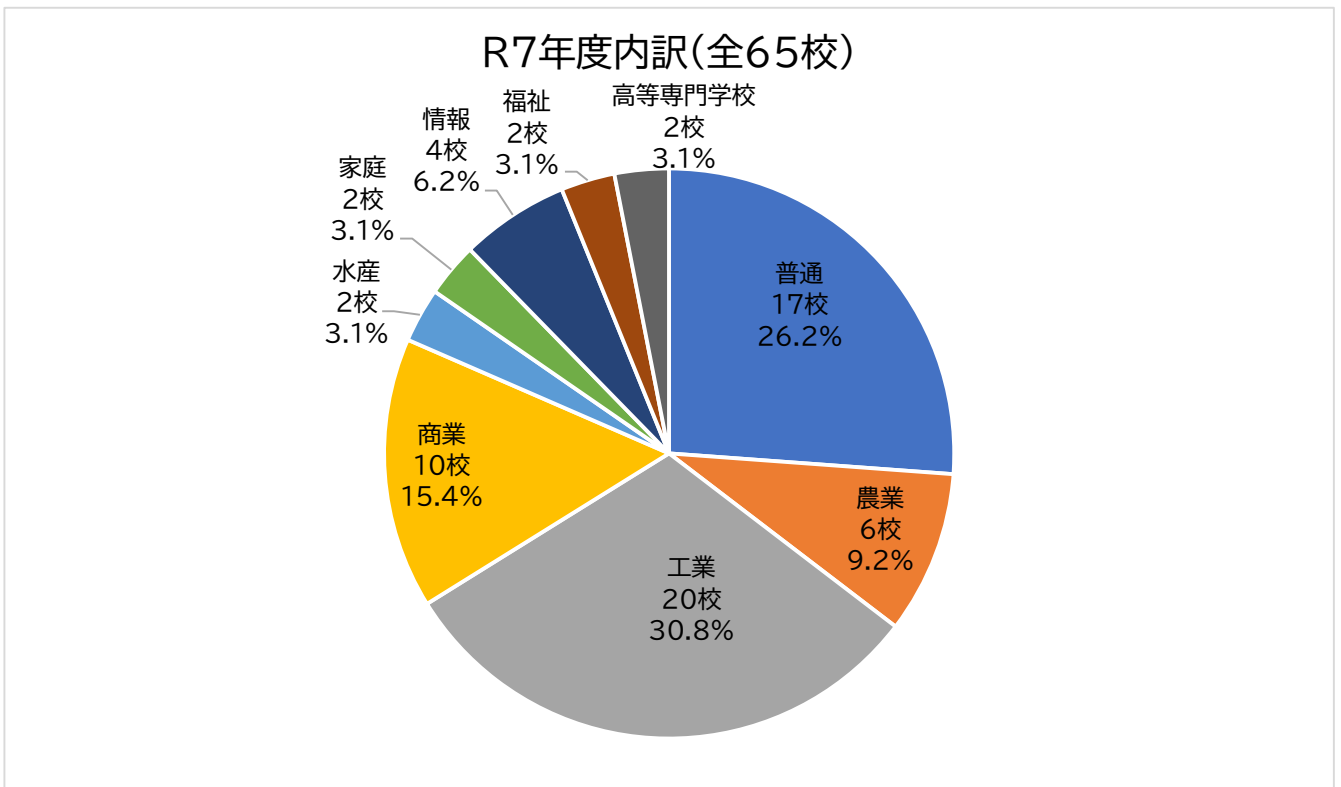
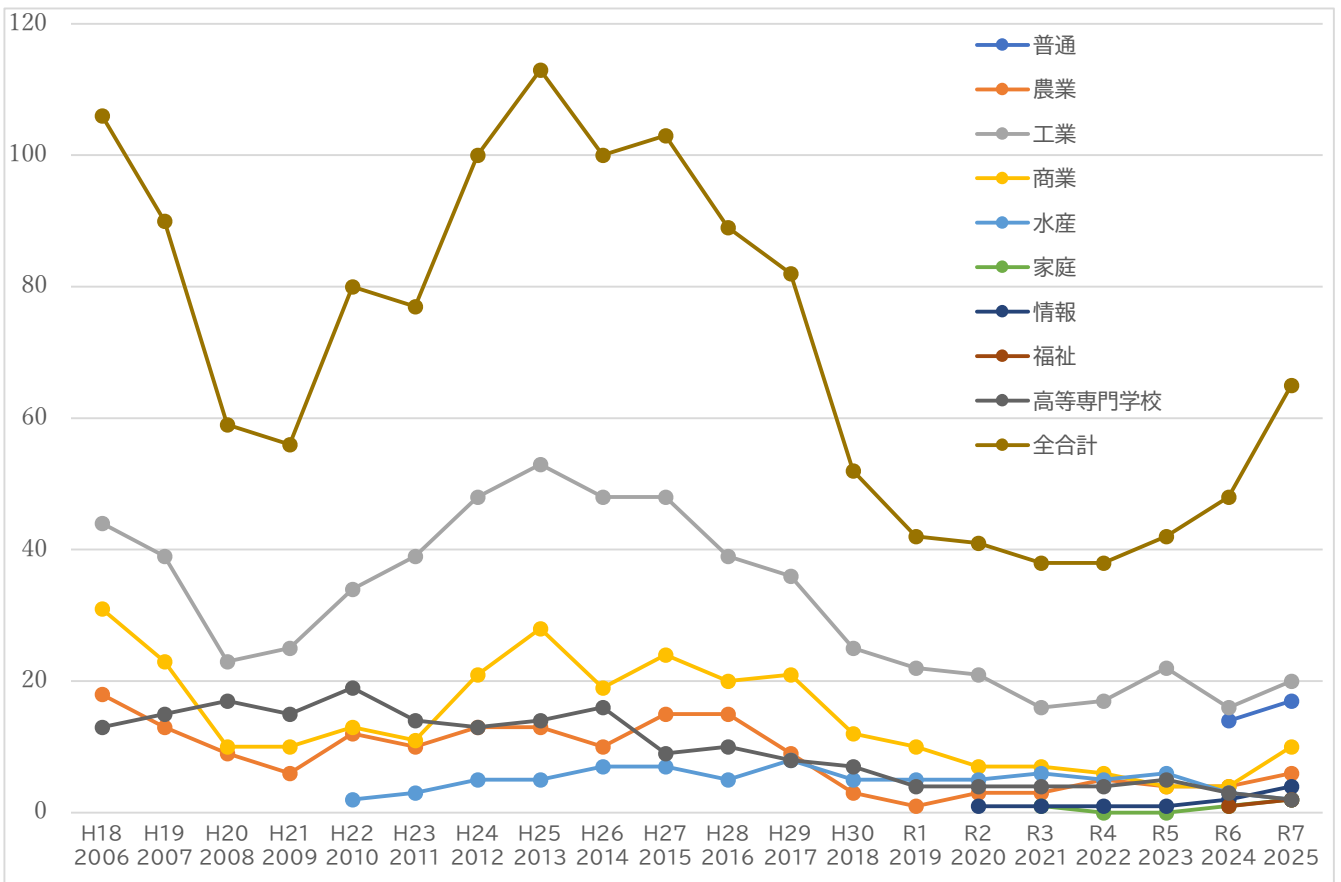
- 三重県立津西高等学校
- 岐阜県立岐阜農林高等学校
- 三重県立津工業高等学校
- 岐阜県立岐阜工業高等学校
- 岐阜県立岐南工業高等学校
- 富山高等専門学校

近畿地区——11校

- 福井県立高志高等学校
- 大阪府立農芸高等学校
- 大阪府立東淀工業高等学校
- 大阪府立堺工科高等学校
- 大阪府立工芸高等学校
- 大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校
- 大阪府立淀商業高等学校
- 兵庫県立長田商業高等学校
- 兵庫県立香住高等学校
- 和歌山県立熊野高等学校
- 京都府立京都すばる高等学校

(○印は、令和7年度新規参加校)

図1-1-2 校種別参加校数の推移



第2節 参加校の指導対象・取組内容

令和7年度参加校(普通17校、農業6校、工業20校、商業10校、水産2校、家庭2校、情報4校、福祉2校、高等専門学校2校 合計65校)の指導対象・取組内容(取組の目的・目標の要約)を記す。

表1-2-1各校の指導対象・取組内容

普通

学校番号	学校名	学年	学科	科目／形態	・取組内容(目的・目標要約)
普 01	札幌日本大学 高等学校	1	普通科	ST 未来 創造 I、II /クラス別	<ul style="list-style-type: none"> ・ パテントコンテストにつながる取組 ・ 知財学習プログラムの充実と改善(教員向け)
		2			
普 02	東海大学付属 札幌高等学校	1	普通	現代文明 論(総合的 な探究)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉に貢献する発明品を考えよう ・ 知的財産権に関する講演 ・ 教員対象知的財産教育セミナー ・ 実践先進校訪問 ・ 指導教員による指導(中津東 佐藤先生)
		3	普通	LHR	
普 03	宮城県松島 高等学校	1	普通科	情報 I / 必修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的財産について学び、情報を発信しよう(ポスター製作) ・ プロモーションコンテンツ(動画・音声)製作・発信 ・ DX活動 Webコンテンツ製作・Webアプリ製作・発信 ・ データサイエンス「RESAS・白書等のデータを使用したデータ分析と課題解決にむけた取り組み」 ・ 情報セキュリティ・モラル研修 知的財産権について
		1	普通科	情報 II / 選択	
		1~3	普通科/ 観光科	特別活動 「LHR」	
		1~3	課外活動	部活動	
普 04	東海大学付属 市原望洋 高等学校	1	普通科	高校現代 文明論/ 授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な便利なグッズ(商品)から、知的財産を知ろう。 ・ アイデア商品を提案しよう。 ・ 起業家精神を理解する。 ・ 知的財産教育についての研究
		2	普通科	総合的な 探究の 時間/ 授業形態	
		3	普通科	総合的な 探究の 時間/ 授業形態	
普 05	玉川学園 高等部	3	普通科	SDGs 演習/授業	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンガポール南洋理工大学佐藤教授による講義 ・ 情報の授業における『閃きの番人』の教材利用 ・ シンガポール南洋理工大学佐藤教授の研究室訪問 ・ 探究スタートアップポスターセッション企画 ・ パテントコンテストへの挑戦 ・ その他コンテストに向けた取り組み ・ 3D プリンタの活用講座 ・ 工具の使い方・加工方法等の講義 ・ ビジネスプラン講座
		1~3	普通科	総合的な 探究の 時間/授業	
		1~3	普通科	課外活動	

普 06	サレジアン 国際学園 中学校 高等学校	中 2,3	本科 コース	ゼミ ナール (entrep reneur 養成講座)	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産に関する講義 研究と知的財産の繋がりを知る、石垣島の知的財産を知る 知的財産に関する動画上映
		高 1,2			
普 07	東海大学 付属高輪台 高等学校・ 中等部	1	普通科	高校現代 文明論(総 合的な学 習の時間)	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産の尊重に関するレクチャー 知的財産の尊重に関するワークショップ 知的財産の尊重に関する生徒研修(東京税関羽田税関支署) 知的財産の尊重に関するディベート 知的財産の創造に関する往訪型の教員研修 知的財産の創造に関する内化 知的財産の創造に関する生徒研修(丸増園ほか)
		2	普通科	総合的な 探究の 時間	
		3	普通科	総合的な 探究の 時間	
		1~3	普通科	特別活動 ほか	
普 08	聖学院 中学校 高等学校	1	普通科	教科 「情報 I」	<ul style="list-style-type: none"> 3D プリンタ活用ワークショップ(基礎・マインドセット) 企業連携・専門家講義(著作権・肖像権) 高大連携 3D スキャン技術講座(大正大学) オリジナル入力デバイス開発と先行技術調査 対外成果発表と社会発信(サイエンスアゴラ・学会) サイエンスアゴラ 2025、4DFF、大阪研究会 生徒講師による小学生向け 3D モデリング講座
		2	普通科	授業 「STEAM」	
		1	普通科	探究活動 (有志)	
		1~2	普通科	特別活動・ 講演会	
普 09	東海大学 付属相模 高等学校	1	普通科	総合的な 探究の時 間および LHR	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産とその権利について学ぶ 既製品からアイデアを学ぶ 問題を解決する商品を開発する 開発した新商品の説明資料をまとめる グループ単位での学級内プレゼン 著作物について学ぶ 引用のしかたについて学ぶ
		2	普通科	総合的な 探究の時 間および LHR	
		3	普通科	総合的な 探究の時 間および LHR	
普 10	立花学園 高等学校	2	普通	総合的な 探究の 時間	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産の基礎講座 地域課題を見つけるフィールド調査 アイデア検証ワークショップ(住民・外部向け) 実装アイデアのブラッシュアップ講座 盛り上げ隊による地域活性アイデア発表ワーク 地域連携による商品開発 「たちばニヤン」商標登録プロジェクト 3D プリンタを活用した「まずやってみる」創造力育成プログラム
		1~2	普通	課外活動	
		1~2	普通	課外活動	
普 11	福井県立 高志 高等学校	1	探究 創造科	課題研究/ 課内授業	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権とはなにか？ 企業・研究機関研修 (核融合科学研究所・トヨタ会館・名古屋大学) 知的財産権はどのように守られているか？ 分かりやすく説明しよう① 分かりやすく説明しよう②
		1	探究 創造科	美術/ 課内授業	
		1	探究 創造科	校外学習/ 課外活動	
		2	理数 創造科	校外学習/ 課外活動	
		2	人文 創造科	校外学習/ 課外活動	
		2	人文 創造科	課題研究/ 課外活動	
		1	探究 創造科	全国規模大 会への参加 /課外活動	

		2	理数創造科	全国規模大会への参加/課外活動	
		2	人文創造科	全国規模大会への参加/課外活動	
普 12	三重県立津西高等学校	1	国際科学科・普通科	総合的な探究の時間	<ul style="list-style-type: none"> 知財入門講演会 プレゼン講演会 「知財を知る」ための企業見学会 弁理士によるパテコンガイダンス パテントコンテストへの応募 地元の技術系企業との連携 地元企業との商品開発
		1	国際科学科	「知財を知る」ための企業見学会	
		2	国際科学科・普通科	課題研究(探究学習)	
普 13	岡山県立岡山芳泉高等学校	2	普通科	総合的な探究の時間/一斉	<ul style="list-style-type: none"> 個人研究ガイダンス ポスターセッション 成果物作成 企業訪問(校外:内山工業株式会社赤坂研究所) 企業訪問(校外:季譜の里) パテントコンテスト応募準備、知的財産関連の法について学ぶ(山口大学講師による知的財産の講座)
		1	普通科	総合的な探究の時間/一斉	
		1~3	普通科	課外活動	
普 14	広島工業大学高等学校	2	K-STEAM 類型	STEAM II (総合的探究の時間)	<ul style="list-style-type: none"> 発想法ワークショップおよび知財面を意識した新規性の検証方法 ものづくり関連コンテスト参加への取り組み ノベルティグッズを作ろう(校内コンテスト実施)
普 15	野田学園中学・高等学校	4~5	探究コース	総合的な探究の時間/講義 校外学習	<ul style="list-style-type: none"> 大学教員による出前講義① 大学教員による出前講義② 発明体験ワークショップ DXスペース書架への知財学習コーナーの設置 大学知的財産センター及び関連企業訪問 ものづくりDX探究塾
		4~5	医進コース	特別活動/講義	
		—	インフォメーションデザイン部	部活動/ワークショップ	
普 16	徳島市立高等学校	1	理数科	理数探究 I	<ul style="list-style-type: none"> 理数科セミナー(京都) 理数探究 II 徳島 innovation
		2	理数科	理数探究 II	
		2	普通科	総合的な探究の時間	
普 17	長崎総合科学大学附属高等学校	全	全	学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産セミナー(講演会) 教職員研修・環境整備 道の駅弁当試作 高校生ビジネスプラン・グランプリ応募 三和酒類株式会社に学ぶ、企業見学・知財学習セミナー(大分県日田市:いいちこ日田蒸留所) パテントコンテスト・デザインパテントコンテスト応募 文化祭でのオリジナルキーホルダー等製作・販売 ロボコン大会にむけて部品製作 情報教育コンテスト応募
		1~2	地域ビジネス	コース科目	
		2~3	文理ハイブリッド	コース科目	
		全	美術部・科学技術部	部活動	
		全	科学技術部	部活動	

農業

学校番号	学校名	学年	学科	科目/形態	取組内容(目的・目標要約)
農 01	北海道更別農業高等学校	1	農業科 生活科学科	農業と情報	<ul style="list-style-type: none"> スベルト小麦の栽培と加工特性の研究 スベルト小麦の栽培と加工特性の研究 本校で今後実施していく小麦の残渣物ふすまを用いたきこの栽培方法が知的財産に抵触していないか群馬県立利根実業高校に先進地視察を行う。 高齢者に特化した食品の開発と知財教育をテーマに株式会社石屋製菓様を通して学習を深める予定でした。事前に立案した計画とは違うが、株式会社石屋製菓主催「食の学校祭」に参加し、知的財産学習を実施した。 三菱みらい育成財団主催高校生MIRAI万博の参加と知財教育 知的財産の基礎・基本を理解する 発明とは何か、パテントコンテストは何かを理解する
		2~3	農業科 生活科学科	総合実習 課題研究 /分会活動	
農 02	秋田県立大曲農業高等学校	2	農業科学科	課題研究 野菜	<ul style="list-style-type: none"> 実験圃場の選定 下水汚泥コンポストの散布・栽培試験 完成製品の普及啓発 キイチゴの栽培種と野生種の比較試験 果樹の施設栽培の可能性 キイチゴ類やブルーベリーの代替資材試験 大阪関西万博での成果発表
		2	農業科学科	課題研究 果樹	
		3	農業科学科	課題研究 野菜	
		3	農業科学科	課題研究 果樹	
農 03	岐阜県立岐阜農林高等学校	1	流通科学科	食品流通 座学	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーブリッジの作成 マーケティング 知財セミナーと振り返り KJ法による創造性の学習 商品や社会、情報活用 商品や社会、情報活用 商品や社会、情報活用 商品や社会、情報活用 ブランディングと商標登録の方法 創造性を鍛える演習 紙飛行機を遠くまで飛ばす 課題研究の取組と知的財産 知財学習と他校の取組 知財に関する特別授業 知財研修会 知財セミナー
		1~3	園芸科学科	総合実習、 課題研究 実習	
		1~3	動物科学科	総合実習、 課題研究 実習	
		1~3	森林科学科	総合実習、 課題研究 実習	
		1~3	環境科学科	総合実習、 課題研究 実習	
		1~3	食品科学科	総合実習、 課題研究 実習	
		1~3	生物工学科	総合実習、 課題研究 実習	
農 04	大阪府立農芸高等学校	2~3	ハイテク農芸科	総合実習・ 課題研究・ 園芸流通・ 農業経営	<ul style="list-style-type: none"> 新商品のレシピ開発を行い、Seed様やフランシーズ様と一緒に商品化にこぎつけた 自分たちで作成した商品のマーケティングを行う中で、著作権や商標権の重要性についてより深く学ぶ。特に、学んだことを有形化し、外部への報告などを行う。 全国の知的財産を学んでいる生徒同士での交流やディスカッションを通じて知財マインドを醸成する。また、教員同士でのグループディスカッションや情報共有の場を設ける。
		1~3	ハイテク農芸科	部活動	
		2~3	資源動物科	総合実習・ 課題研究	
農 05	熊本県立熊本農業高等学校	3	畜産科	課題研究/ 座学	<ul style="list-style-type: none"> 畜産科「知的財産学習」セミナー 牛肉加工・店舗型販売先進地視察研修 大阪・関西万博における知財学習成果発表 畜産に生きる会議 知財学習の視点を加えた課題研究発表会 佐賀県立有田工業高等学校デザイン科課題研究発表会
		2	畜産科	課題研究/ 座学	
		1	畜産科	農業と環境 /座学・実習	
農 06	大分県立日出総合高等学校	3	農業経営科	総合実習・ 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 原木シイタケ栽培の課題調査 栽培棚製作 発明体験ワークショップ参加 ブランド化へ向けた栽培方法調査 課題研究発表会 課題研究発表会
		3	機械電子科	総合実習・ 課題研究	
		2	農業経営科	総合実習	
		1	機械電子科	総合実習	

工業

学校番号	学校名	学年	学科	科目/形態	取組内容(目的・目標要約)
工 01	宮城県工業高等学校	3	情報技術科	課題研究(総合的な探究の時間)	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の「困った」を自分の課題とする明確な課題意識の育成(知財担当教員による知財講話) ものづくり(総合的な探究の時間(課題研究)) 「探究とは何か」の明確化、テーマ設定のコツ、 気づきと自分の課題としてとらえる意識の醸成
		2	情報技術科	情報技術実習	<ul style="list-style-type: none"> (知財担当教員による知財講話) ものづくり・研究(化工部) 学都「仙台・宮城」サイエンスデイ出展(東北大学)
		1	情報技術科	工業技術基礎	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり・研究(情報研究部) 第63回技能五輪全国大会 ウェブデザイン職種 銀賞(2年連続) →台湾・台北で開催の第3回技能五輪アジア大会のウェブデザイン職種に高校生として唯一日本代表選手として出場
		3	機械科	課題研究(総合的な探究の時間)	<ul style="list-style-type: none"> 第20回若年者ものづくり競技大会若年者ものづくり競技会 業務用 IT ソフトウェアソリューションズ職種 銀賞 WRO 全国大会出場 プログラミングコンテスト準優勝
		3	化学工業科	課題研究(総合的な探究の時間)	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり・研究(自動車部) ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山参加 新潟大学 三俣哲教授による講話 ものづくり・研究(化学工業科)
		2	化学工業科	化学工業実習	<ul style="list-style-type: none"> 高校生ものづくりコンテスト宮城県大会化学分析部門において第二位、三位に入賞 製品開発の成功の鍵(問題解決の糸口を知る) 気づきと自分の課題としてとらえる意識の醸成 知財担当教員および外部講師による講話
		1	化学工業科	化学工業実習	<ul style="list-style-type: none"> ソリューション提案 地元企業との連携(出前授業) AI を利用した社会課題の解決と社会実装するための考え方
		全	情報技術研究部	部活動	<ul style="list-style-type: none"> 発明体験ワークショップ参加 パテントコンテストへの布石
		全	自動車部	部活動	<ul style="list-style-type: none"> コンテスト応募 パテントコンテストへの応募 気づきと自分の課題としてとらえる意識の醸成 知財担当教員による講話および授業展開
		全	化工部	部活動	<ul style="list-style-type: none"> 全校生徒への技術的な新聞記事の紹介 河北新報の技術的記事の特集、編集し配付、あらゆる技術で「何ができるか」を知る、技術による社会課題の解決、進路選択への一助
		全	図書部	LHR	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション能力向上のための特別授業 スマート農業を通じた情報技術を活用したソリューション提案 QR コードを活用したソリューション提案
		3	国語科(図書部)	論理国語	<ul style="list-style-type: none"> 校内教員研修 岐阜農林高校知財担当者との知財学習討議
工 02	秋田県立湯沢翔北高等学校	1	専攻科生産技術科	産業社会学	<ul style="list-style-type: none"> 弁理士を招いた特別授業① 調査, 研究, 構想, 設計(福祉機器コンテスト) 試作, 改良, 応募(福祉機器コンテスト)
		2	専攻科生産技術科	産業社会学、RP 実習、CAD/CA M 実習	<ul style="list-style-type: none"> 調査, 研究, 構想, 設計(パテントコンテスト) 試作, 改良(パテントコンテスト) 弁理士を招いた特別授業② ハート形の型の設計と試作
工 03	山形県立鶴岡工業高等学校	3	情報通信科	工業/課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究により自動養蚕工場の研究 国際弁護士・弁理士による知的財産権についての講話
		全	全5学科	全校集会	<ul style="list-style-type: none"> 国際弁護士・弁理士による知的財産権についての研修会 アドバイザーによる商標申請書類作成の指導
		2~3	全5学科	生徒会理事+有志生徒	<ul style="list-style-type: none"> 先進校視察(東海大学付属高輪台高等学校・聖学院高等学校) 発明体験ワークショップ参加・パテントコンテスト応募(仙台) 学校オリジナルロゴデザインの制作

工 04	群馬県立 前橋工業 高等学校	1	機械科	工業技術 基礎	<ul style="list-style-type: none"> 「工業情報数理」、「工業技術基礎」での授業 J-PlatPat(特許情報プラットフォーム)を活用した講習 弁理士や知財に携わる方による特別授業 製品作りのいろはを学ぶ 社会における知財の現状について学ぶ 建築研究部員への知財活用の意識づけ
		2	機械科	機械工作、 製図	
		3	機械科	機械工作	
		1~3	建築科	部活動	
工 05	長野県 佐久平 総合技術 高等学校	3	機械 システム 科	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 地元弁理士との都合が付かず急遽長野県知財総合支援窓口の支援担当者に来校いただきセミナーを実施した。 創作活動における企業連携として地元企業 2 社へ訪問を実施した 創作活動として EV バイクを製作し三重県鈴鹿市で おこなわれる全国大会へ出場した
		3	電気 情報科	課題研究	
工06	岐阜県立 岐阜工業 高等学校	3	航空機械 工学科	課題研究/ グループ 毎	<ul style="list-style-type: none"> インターステラテクノロジス(株)の見学 ヒット商品はこうして生まれた(岐阜版) 税関見学 メカトロテックジャパン 2025 見学 パテントコンテスト・デザインパテントコンテストへの参加・応募 パテントコンテスト・デザインパテントコンテストへの参加・応募 モノづくり教室、ワークショップの実施 ソリューションシステムを構成する機器などについて学ぶ 校種間連携と技術的ブレイクスルーをテーマとした新規マーケティング参入 研究会・報告会への参加
		2	航空機械 工学科	実習/ クラス	
		3	設備シス テム工学 科	課題研究/ グループ 毎	
		全	岐阜エテ クノLAB	部活動	
工07	岐阜県立 岐南工業 高等学校	3	自動車 工学科	課題研究/ グループ 学習	<ul style="list-style-type: none"> 企業で活用されている知的財産の講演 企業で活用されている知的財産の講演 パテコン・デザインパテコンへの取組 商品化への取組 学科エンブレムの作成(トヨタ博物館、デザイン事務所)
		1~3	電気 工学科	部活動	
		1	電子 工学科	工業情報 数理/講演	
工08	三重県立 津工業 高等学校	1~3	機械・ 電気・ 電子	部活動(機 械研究部)	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権とは何かを知る 知的財産権とは何かを知る 地域企業の知的財産権について知る 地域企業の知的財産権について知る
		3	機械	課題研究	
		1~3	機械・ 電気・ 電子・ 建設	学校行事	
工09	大阪府立 東淀工業 高等学校	1	全	キャリア ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産制度の意義についての学習 企業技術者による講演会 弁理士による 3 年生対象校内セミナーの開催 特許申請や商標登録を視野に入れた試作品の製作 知的財産管理技能検定受検のための学習 CUBIS を使用しての知財学習 教員の知的財産に関わる各種研修会への参加
		2	全	総合的な 探究の 時間	
		3	全	課題研究	
		1~3		有志生徒	

工10	大阪府立 工芸 高等学校	1~3	インテリア デザイン科		<ul style="list-style-type: none"> • ロゴデザインに関わる知的財産権(ビジュアルデザイン科) • ロゴデザインに関わる知的財産権(映像デザイン科) • 実習作品での知的財産権の利用(プロダクトデザイン科) • 美術科の実習における模倣と自主制作についての知識・技能を養う • デザイン思考で共同的なものづくりを行う課題解決型学習(PBL 型学習) • 「インテリアデザイン実習」における作品制作と知的財産力の育成 • 工業情報数理「知的財産学習」への取り組み
		3	ビジュアル デザイン科		
		2~3	映像 デザイン科		
		2	プロダクト デザイン科		
		2~3	美術科		
工11	大阪府立 堺工科 高等学校	2	全学科	総合的な 探究の 時間	<ul style="list-style-type: none"> • 弁理士による知的財産に関する講義 • 日本 IBM との共同学習 • 大学教授からの講演(大阪工業大学) • 生徒がオリジナル作品の製作
		3	全学科	課題研究	
工12	山口県立 田布施農工 高等学校	1	全学科	産業基礎	<ul style="list-style-type: none"> • 知財学習会(1年生) • デザインパテントコンテストへの参加 • モノづくりフェア事前指導 • モノづくりフェア参加 • 中学校連携 • 農工祭 • ティーチャーズものづくりー • ロボット製作
		2	機械制御科	機械工作	
		3	機械制御科	課題研究	
工13	山口県立 徳山商工 高等学校	1	機械科	工業情報 数理	<ul style="list-style-type: none"> • 教室に知財文庫設置 • 知的財産の基礎 • 個人で創造 • J-PlatPat の使い方 • パテントコンテスト資料作成指導 • 外部講師講演会(マツダ株式会社様) • TRIZ の活用法(指導途中) • 知財創造実践甲子園事前講習会参加 • 知的財産教育研究会 in 九州 参加 • パテントコンテスト参加 • 地域・学校に必要なものづくり(課題研究) • 地域産業の研究・企業連携(課題研究) • ものづくりと関連付けた知財学習(課題研究) • 中学生向け知財学習会開催(体験入学) • MakerFair 研修に参加 • 周南 MakersLab.(工作教室・おもちゃ病院) • 知財力開発事業年次報告会参加 • 先進校視察(山口大学)
		2	機械科	機械設計	
		3	機械科	機械設計	
		1~3	機械科・ 商業科	周南 Makers Lab.(自 由参加)	
工14	香川県立 多度津 高等学校	3	機械科	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> • 知的財産基礎と発想力を鍛える(紙で高いタワーを創り発想力を高める訓練) • 競技用ロボットや小型船舶等製作とその技術を活用した便利器具の考案 • 企業講師による鋼材料の溶接技能応用技術習得講習と知財創造セミナー(創造作品製作) • 問題発見・改善シート活用による地域貢献できる装置・器具の発想(アイデア作品の開発) • 「知的財産」を意識し、社会に貢献できる人材の育成(探究と知財の関係)
		2	機械科	造船工学	
		1	機械科	工業技術 基礎	
		1~3	溶接部	課外活動	
工15	開新 高等学校	1	機械科	工業技術 基礎/工場 見学・講話	<ul style="list-style-type: none"> • 知財学習協力企業(金剛株式会社)への工場見学と講話 • 外部講師によるマシニングセンタの実習 • ロボットの機能・機構についての学習 • 校内傘立ての改良
		3	機械科	課題研究/ 実習	
工16	熊本県立 熊本工業 高等学校	2	情報 システム科	課題研究・ 専門科目	<ul style="list-style-type: none"> • 知財基礎講座(村川教授による J-PlatPat 活用) • 発想力育成ワーク(TRIZ・SCAMPER の導入) • J-PlatPat 検索演習とアイデア差別化の実践 • パテント(デザイン)コンテスト応募準備 • 中間発表会(フィードバックによる改善) • 弁理士による出願書類作成講座(高宮弁理士) • 成果発表会(外部講師・弁理士による講評) • 知財リテラシーの定着と振り返り • ブランディング講義(古家氏によるデザイン思考)
		3	情報 システム科	課題研究	
		2	建築科	課題研究	

		1	情報システム科	専門科目 (合同授業)	・ 知的財産教育研究会 in 九州(福岡県福岡市)
E17	大分県立 大分工業 高等学校	全	機械・電気・ 電子	課題研究 /DAIKO 水車プロ ジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド発電装置の研究 ハイブリッド発電装置の改良 ハイブリッド発電装置の実証実験 各種大会への参加(大阪・関西万博) 各種大会への参加(ボランティアアワード)
		1	全	工業技術 基礎/探究 学習	<ul style="list-style-type: none"> 科目「工業技術基礎」における探究学習で知的財産を学ぶ 他校との教材の共同研究(松江高専との共同研究) 他校との教材の共同研究(函館工業高校への視察)
E18	大分県立 鶴崎工業 高等学校	3	機械科	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産についての学習 農作物栽培 校内講演会
		1~2	機械科	講義	<ul style="list-style-type: none"> 無人販売所作成(移動式) 盗難防止装置作成
		1~3	機械科	研究発表 会	<ul style="list-style-type: none"> 無人販売体験 課題研究発表会
E19	大分県立 中津東 高等学校	3	生産システム 科	課題研究 (授業)	<ul style="list-style-type: none"> エコデンカーの製作 地域での困りごと解決 風力発電 廃油で発電 外部講師招聘 紙タワー・ブリッジ TRIZ を用いた問題解決 知的財産教育研究会 in 九州 の開催
		3	機械科	課題研究 (授業)	
		全	生産システム 科	外部講師 招聘	
		2	生産システム 科	地域産業 技術 (授業)	
		2	生産システム 科	実習 (授業)	
E20	鹿児島県立 鹿児島工業 高等学校	1	全クラス	総合的な 探究の 時間	<ul style="list-style-type: none"> 工業技術基礎 知的財産教育出前授業 知的財産教育講演会 知的財産推進委員会(学校・東京) 課題研究での取り組み(学校・県民交流センター) パテントコンテストへの挑戦(学校・東京) 技術アイデアコンテストへの応募 ロボット競技大会へ参加(学校・川内・福島)
		1	I類6クラス	工業技術 基礎	
		3	電子機械系	課題研究	
		1	電気技術系	機械部, メカトロ 部	

商業

学校 番号	学校名	学年	学科	科目/形 態	取組内容(目的・目標要約)
商 01	宮城県 大河原産業 高等学校	1	企画 デザイン科	商業デザ イン実習 I	<ul style="list-style-type: none"> 「デザイン」する上での心構え 商標権を取得する意義や目的 商標登録について 知財学習先進校の取り組み 商標権を取得するメリット
		2	企画 デザイン科	商業デザ イン実習 II	
		3	企画 デザイン科	商業デザ イン実習 III	
商 02	宮城県 南三陸 高等学校	1~3	商業科	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 「知的財産」について知ろう 高校生が地域の魅力を発信しよう 地域の魅力をみつけよう 地域の課題を解決しよう 指導力向上
		1~3	商業・普通科	部活動	
		2	普通科	地域学	
		3	普通科	地域探究 学	
商 03	山形県立 天童 高等学校	3	総合学科(ビ ジネス総合)	課題研究/ 系列選択 者	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府立高校 2 校(淀商業・大阪ビジネスフロンティア) アドバイザーによる出前講座(相談) スクールキャラクターの創作 INPIT 山形窓口による商標権に関する講話

		3	総合学科(福祉総合)	生活支援技術/系列選択者	<ul style="list-style-type: none"> 商標権登録の相談 米粉を使った商品開発
商 04	東京都立芝商業高等学校	3	ビジネス科	商品開発と流通、ビジネス法規/講演	<ul style="list-style-type: none"> 企業の事例に学ぶ産業財産権の活用についての講演 本校オリジナル商品の商標についての調査研究 本校オリジナルキャラクターの商標についての調査研究
		3	ビジネス科	課題研究/講演、調査、報告	
商 05	東京都立第五商業高等学校	2	ビジネス科	学校設定科目「ビジネスアイデア」	<ul style="list-style-type: none"> 地域の会社経営等により知財力の視点から商品・サービスについてアイデアを学ぶ 地域の会社経営等により知財力の視点から SDGs の課題解決についてアイデアを学ぶ
商 06	神奈川県立小田原東高等学校	3	総合ビジネス科	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> BYD 株式会社様協力の下、オリジナルカレーの考察を行うとともにパッケージデザインについての考察を行い、知財についても触れた。 産業能率大学の先生と学生に協力していただきグリコのパッケージデザインについて考察するとともに、Well being を踏まえたパッケージを考察した。また J-platPat を活用し、製品の所有する知的財産を調べた。製品はロッテからグリコへ変更した。 おだりんピック開催に向けオリジナルキャラクターの制作を行った。制作時にはグラフィックイメージパークを活用し著作権等への配慮と考察を行った。また小田原市へのプレゼンを実施し、外部への発表の機会となった。発表資料作成時も著作権等を考えながら制作した。 小田原市の小田原提灯、箱根の寄木細工の伝統工芸に触れるとともに、その付加価値について考察し、新たな価値の創造について産業能率大学の学生とともに取り組んだ。(取組継続中) 高校生によるロックイベント「ODAROCK」の開催にあたり、小田原市にプレゼンを行った。プレゼン資料作成に際して著作権等を考慮し作成した。企画が採択され、実施の運びとなった。普段使用している楽曲についての著作権について考察するとともに JASRAC への利用申請等を行う機会となった。また著作権についての考察を深めるため、地域の企業と作曲家に協力いただき DTM のワークショップを開催していただいた。
		1	総合ビジネス科	ビジネス基礎	
		1	普通科・総合ビジネス科	総合的な探究の時間	
		1	商業研究部	部活動	
商 07	大阪府立淀商業高等学校	1	商業科	ビジネス基礎	<ul style="list-style-type: none"> 発明工作授業(マシュマロチャレンジ) 日本人の発明と世界の発明品について調べ学習を行う。どのような特許を取得しているか J-PlatPat で調べ学習を行い、サイトの使い方を学ぶ。 インスタントラーメンの発明秘話の DVD の視聴と発明記念館の社会見学 知的財産権の基礎知識について学ぶ デザイン思考ワークショップ 小学生に知的財産についての関心を持ってもらうイベントを開催(8月8日(金)実施) 生成 AI を使った創作物 防災備蓄パンのパッケージ開発 パテントコンテスト発明体験ワークショップ 第11回淀翔モールオリジナル商品の開発と開催 コクヨ株式会社より特別講演 万博会場で創作ワークショップ メタバース淀翔モールの開発 全国産業教育フェア福島県大会の参加 万博で未来を体験しよう！ビジネス技術アイデアコンテスト 知財力開発支援事業 教員研修 AKINDO SPARKLE 株式会社の商標登録を行うための出願申請相談
		2	商業科	情報処理	
		3	商業科	マーケティング	
		3	商業科	アントレプレナーチャレンジ I	
商 08	大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校	1	グローバルビジネス	ビジネス基礎	<ul style="list-style-type: none"> IP ePlat を利用した e ラーニング(主体的な学習) 担当教員研修 発想体験ワーク 知的財産教育学習 SocialDreamContest への取り組み 弁理士を招いての特別講義 関西 NBC B-hack High school 日本弁理士会主催ビジネスコンテストへの取り組み
		2	グローバルビジネス	ビジネス・マネジメント	
		3	グローバルビジネス	グローバル経済	
商 09	兵庫県立長田商業高等学校	1	創造ビジネス科	地域創造	<ul style="list-style-type: none"> 自動水やり装置と水耕栽培を利用した自立型農園の開発 弁理士 弁理士 産業財産権の講義と商標登録 商品開発 企業訪問
		2	創造ビジネス科	地域創造	

		3	創造 ビジネス科	地域創造 課題研究	
		4	創造 ビジネス科	地域創造	
商 10	愛媛県立 松山商業 高等学校	2	流通経済科	商品開発 と流通	<ul style="list-style-type: none"> • 担当教員研修 • 県内におけるヒット商品の誕生背景 • ヒット商品に関連する知財の保護・活用 • 商品開発協力企業による講演会(有限会社ホクコ) • 商品開発協力企業による講演会(有限会社大西陶芸) • 全国的に有名なお土産商品についての調査・研究 • 知的財産に関する講義(各クラスの担当教員による) • 県内の特産品・伝統工芸品についての調査 • 商品コンセプトの策定 • 商品企画書の作成 • 開発商品についての PR 活動 • 開発商品の販売活動(本校の文化祭バザーで実施) • 開発商品の改善

水産

学校 番号	学校名	学年	学科	科目/形 態	取組内容(目的・目標要約)
水 01	兵庫県立 香住 高等学校	1	海洋 科学科	水産海洋 基礎	<ul style="list-style-type: none"> • 知的財産に関する出前授業・(商標について) • 知的財産に関する出前授業(J-PlatPat の使い方) • 知的財産に関する基礎学習(ペーパータワー)
		2	海洋 科学科	総合実習	<ul style="list-style-type: none"> • 知的財産に関する基礎学習 場所:水族館二フレルを訪問しウェブウォール構造に関する知財について学習 • 研究活動(課題研究)・未利用低利用水産物の商品開発 • 研究活動(総合実習)・水産食品の商品化 場所:角屋食品、安藤百福発明記念館
		3	海洋 科学科	課題研究	<ul style="list-style-type: none"> • 研究活動(総合実習)・海洋資源の開発 場所:沼津港深海水族館(職員研修) 深海生物を中心とした深海資源の探索に関わる知財の研修を実施 産業技術総合研究所 関西センター(職員研修) バッテリー教育講座を受講しバッテリーと知財に関する研修を実施
		1~3	全校生徒	総合実習	<ul style="list-style-type: none"> • 研究活動(総合実習)・漁具の開発 場所:ハヤブサ • 研究発表会
水 02	熊本県立 天草拓心 高等学校 マリン校舎	1	海洋 科学科	総探・海洋 情報技術	<ul style="list-style-type: none"> • 知的財産権についての基礎学習 • 知的財産についての基礎学習
		2	海洋 科学科 (食品)	課題研究・ 総合実習	<ul style="list-style-type: none"> • 知的財産についての講演会 • 弁理士による講演会 • 指導者研修 • 指導者研修
		3	海洋 科学科 (食品)	課題研究・ 総合実習・ 特産品 開発	<ul style="list-style-type: none"> • 商品開発研究 • デザイン講習会(写真講座) • デザイン講習会(長崎市視察研修) • 探究成果発表会

家庭

学校番号	学校名	学年	学科	科目/形態	取組内容(目的・目標要約)
家 01	千葉県立佐倉東高等学校	3	服飾デザイン科	ファッションデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 著作権講習会 衣装の検討 ショー構成の発案・課題検討 成果発表 弁理士による知的財産権についての講習会 商品開発 商品の検討・試作および製作 成果発表
		2	服飾デザイン科	ファッションデザイン	
		1	服飾デザイン科	生活産業基礎	
家 02	和歌山県立熊野高等学校	1	総合学科	家庭基礎	<ul style="list-style-type: none"> 特許や著作権、商標、意匠などの知的財産権に関する知識を学び、その適切な活用や保護について理解を深める
		2	看護科	家庭基礎	
		3	総合学科	家庭科探究	
		3	総合学科	ライフII	

情報

学校番号	学校名	学年	学科	科目/形態	取組内容(目的・目標要約)
情 01	千葉県立柏の葉高等学校	3	情報理数科	情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> デザインので千葉県の銭湯を救え！ BASIC ゲームを作ってペーマガに応募しよう！ 生成 AI 時代の"創作"を問い直す！それは"模倣か？創造か？" 自分らしさの溢れる名刺を作成しよう！
		3	情報理数科	情報システムのプログラミング	
		3	情報理数科	情報セキュリティ	
		3	情報理数科	コンテンツの制作と発信	
情 02	千葉県立袖ヶ浦高等学校	3	情報コミュニケーション科	情報実習	<ul style="list-style-type: none"> 3D プリンタを使用したオリジナルグッズ制作
情 03	京都府立京都すばる高等学校	1	情報科学科	情報科科目	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権の基礎 書籍『楽しく学べる「知財」入門』 ドローンショー開催に向けての研究 プロジェクションマッピングショー開催に向けての研究 舞台照明ライティングオペレータの研究 情報デザインにおける知的財産権 株式会社「天下一品」商事とのパッケージコラボレーション
		2	情報科学科	情報科科目	
		3	情報科学科	情報科科目	
情 04	大分県立情報科学高等学校	1	デジタル創造科	工業技術基礎	<ul style="list-style-type: none"> 大分県版かりゆしウェアの開発 大分県の魅力発信や学校マスコットのグッズ開発 大人対象生成 AI 体験講座 工業技術基礎「知財学習」
		1・3	-	部活動「未来創造部」	
		2	デジタル創造科	課題研究	
		3	デジタル創造科	課題研究	

福祉

学校番号	学校名	学年	学科	科目/形態	取組内容(目的・目標要約)
福 01	東奥学園高等学校	3	福祉科	介護総合演習	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による知財学習セミナー ユニバーサルデザインを考える・作る ユニバーサルデザインを考える・作る
福 02	山形県立鶴岡中央高等学校	1	総合学科 社会福祉 系列	介護福祉 基礎 他	<ul style="list-style-type: none"> 社会が知的財産により豊かになっていることに気づき、それらがどのように継承され、普及してきたのかを知り、その保護や活用することの意義について専門家による講義を通し、理解を深める。 本校社会福祉系列の学びには強みがあり、強みを見える化(ブランディング)し、行動・実践することで地域に貢献できる力を育成する。また、交流や実習で訪れた福祉・介護現場には、バリアや不便といった課題があり、適切な観察力を身につけることが大切である。
		2	総合学科 社会福祉 系列	介護福祉 基礎 他	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者への介護予防体操・レクリエーション活動を通じたフレイル予防のための取り組み～フレイル予防体操の歌、作詞作曲を通じた知財学習 ②地域高齢者が介護予防・フレイル予防を自ら継続していけるように動機づけ支援、意欲を高める支援を高めるための制作物を通じた知財学習 ③小学生への福祉学習を実践する際に作成した資料(スライド)には、著作権があることを意識した知財学習
		3	総合学科	産業社会と 人間	<ul style="list-style-type: none"> 介護の魅力発信事業に参加し、介護の魅力を伝える動画を作成し、肖像権、著作権に配慮しながら進める知財学習 認知症のVR体験は、援助者の視点を学ぶ上で有意義であるとともに福祉を学ぶ生徒が今後働いていくうえで、このような気づきや発見を大切に、行動に移す「新しい創造をする」「創造されたものを尊重する」といった知財創造マインドを養う上で効果的である。 発明体験ワークショップ(仙台会場)への参加、パテントコンテストへの応募

高等専門学校

学校番号	学校名	学年	学科	科目/形態	取組内容(目的・目標要約)
専 01	一関工業高等専門学校	1~5	未来創造 工学科	なし	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産管理技能検定3級対策講座の実施 パテントコンテスト応募支援 知財講演会
		5	未来創造 工学科	実践技術Ⅱ	
		3	未来創造 工学科	知財講演会 (HRの時間 を利用して 実施)	
専 02	富山高等専門学校	2	全学科	キャリアデザイン 研修	<ul style="list-style-type: none"> 企業調査「Ti-TEAM」等における知財学習 探究科目における知財的アプローチの学習・演習(1-1と連携) 他高専の事例調査(一関高専, 函館高専, 北九州高専) 低学年におけるスタートアップ・知財講義の実施(1-1と連携) 課題発見型インターンシップの過去事例の整理, 教材開発 課題発見型インターンシップの実施および現地での調査(北九州高専他) 同好会での知財学習 コンテスト応募者によるものづくりチャレンジ
		4	全学科	課題発見型 インターンシ ップ	
		全	全学科	同好会活動	